

「古文が読めないけれど、どうしたらよいか？」という受験生の悩みを、これまでに数えきれないほど聞いてきた。また、「古文を読んだときに、主語がわからない……」という質問も多く受けるが、これも実は「古文が読めない」という悩みと同じなのである。かつては、「これこれをやればよい」などという、方法的な指導を試みたこともあったが、三十年以上、古文の学習指導にかかわってきたなかで、結局は文章をひたすら「読む」に尽きるということに到着した。「読む」というのは、朗読することでもあり、現代語に訳してみることでもある。とりわけ、朗読することは、古典学習においてはとても大切なことである。近代までは、素説と言って、文章の意味などを考えず、ただただ音読するという学習があり、これを何十回何百回とくり返していけば、おのずと文章の意味が理解できるようになると言われる。これは、現代においても有効な学習法だとは思いますが、いかんせん、受験生は試験までの学習時間に限りがある。また、現代の受験生には、勉強しなければならぬ科目も多く、古文ばかりやっているというわけにもいかない。

そこで、朗読したり現代語訳をしたりする、「読む」学習の一助として、古文によく見られる単語や語句をあらかじめ覚えておくという準備は有効だろう。いわゆる重要語句の学習である。「重要語句は、いったいいくつか覚える必要があるのか」との疑問があるだろうが、これについては、古文の学習指導者それぞれで、一定の見解はない。もちろん、可能な限り覚えておくにこしたことはないが、指導する立場としては、受験生に「ひたすら数多く覚えろ」と丸投げするよりは、ある程度の指針はなるべく示しておきたい。そこで、今回これだけのことは覚えて古文を「読む」学習をしてほしいという意図で作られたのが本書である。

くれぐれも、この単語集の内容をすべて消化したからといって、即古文が読めるようになるとは思わないこと。あくまでも、本書は古文を「読む」ための道具である。これを活用して、できるだけ多くの文章を読み、自分の頭の中に、辞書なしでも理解できる文章の数々を、いくつでも蓄積していくことが大切なのである。

## 第1章 基礎単語 100

step 1	8	step 2	20	step 3	32
step 4	44	step 5	56		

読み方に注意したい語① 宗教・建物調音編

step 1	68	step 2	67
--------	----	--------	----

## 第2章 共通テスト対策 200

step 6	72	step 7	84	step 8	98
step 9	110	step 10	120		

読み方に注意したい語② 衣類・植物・人・事編

step 1	132	step 2	131
--------	-----	--------	-----

step 11	134	step 12	146	step 13	158
step 14	170	step 15	182		

読み方に注意したい語③ 宮中・生活習慣・自然・地名編

step 1	194	step 2	193
--------	-----	--------	-----

## 第3章 難関大突破 180

step 16	198	step 17	208	step 18	220
step 19	230	step 20	242		

読み方に注意したい語④ 読解トレーニング「源氏物語」

step 1	254	step 2	268	step 3	280
--------	-----	--------	-----	--------	-----

step 1	292	step 2	256
--------	-----	--------	-----

読み方に注意したい語⑤ 読解トレーニング「栄花物語」

step 1	302	step 2	302
--------	-----	--------	-----

## 付録 入試対策・実践演習

問題	306	解答・現代語訳	318
索引	324		

## コラム

## 〔古典常識〕

- 天皇・帝 19 上皇 25 后 31 女御・更衣・御息所 37  
 殿上人 39 上達部 49 摂政・関白 51 下級官僚 61  
 臣・降下・賜姓 65 比叡山延暦寺 75  
 清水寺・長谷寺・石山寺 83 石清水八幡宮 85 金峯山寺 93  
 熊野信仰 97 四天王寺・住吉神社 101 無常観・転生 107  
 陰陽道 109 方家がり・方違へ 121 出家 139 出家 145  
 安倍晴明 153 太陰曆(陰曆) 155 月の異名 157 上弦の月 169  
 下弦の月 171 晦日・大晦日 189 男女関係 193 求愛 219  
 男女関係 ① 結婚 231 男女関係 ② 妻問婚と婚儀 237  
 男女関係 ③ 後朝 241 男女関係 ④ 発嫁 245  
 男女関係 ⑤ 色好み 251 男女関係 ⑥ 色好み 2 263  
 懐妊・出産 267 出産後の祝い 275 元服・裳着 287
- 〔花は桜木〕
- ① 和歌における動植物のとりあわせ 196 70  
 ② 和歌における土地や景物などのとりあわせ 196 70

## 本書の特徴と使い方

本書は、以下の方針で編集されている。

### ○ 単語ページ

#### ① 見出し語

- 「入試頻出」の視点から、古語480語を厳選した。
- 暗記効率を考えて、見出し語20語で1st stepのユニットとしてまとめ、学習しやすさを考慮した。また、一つのstepに複数の品詞を入れることで、古文単語力をまんべんなく底あげできることを期した。

#### ② ( ) 欄

- 実際の入試で、漢字表記での語の読み書きが問われることのあるものについては、見出し語を漢字で示している。なので、積極的に覚えること。
- 活用のない語、活用語の語幹は色文字で、活用語尾は黒文字で表記した。

#### ③ 品詞・活用の種類等

- 品詞等は、以下のマークで表した。
- (形動詞)、■ (形容動詞)、■ (動詞)、■ (副詞)、■ (名詞)、■ (感動詞)、■ (連体詞)、■ (慣用句)、■ (接続詞)、■ (接頭語)
- 動詞や形容詞、形容動詞の活用の種類は、以下のマークで表した。

動詞……………■ (四段活用)、■ (上一段活用)、

■ (上二段活用)、■ (下二段活用)、

■ (カ行変格活用)、■ (サ行変格活用)、

■ (ナ行変格活用)、■ (ラ行変格活用)

※例■はラ行四段活用を表す。

形容詞……………■ (ク活用)、■ (シク活用)

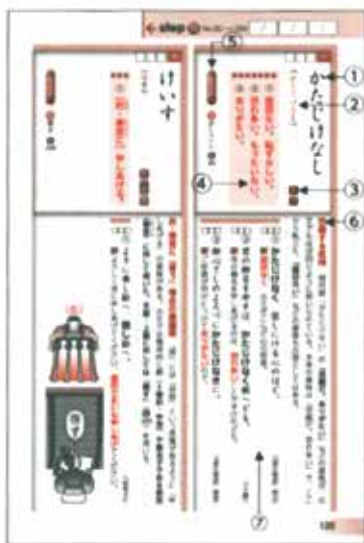
形容動詞……………■ (ナリ活用)

- 敬語の種類は、以下のマークで表した。

■ (尊敬語)、■ (謙譲語)、■ (丁寧語)

#### ④ 訳語

- 一つの古語について、入試に必要な訳語(最大五つ)を収録した。



⑤ 関連語

● 関連語は、以下のマークで表した。

● (○) (同義語)、● (●) (類義語)、● (●) (派生語)、

● (○) (対義語)

● 派生語では、派生した語の派生元となった語についても「派生語」として掲載している。

⑥ 古語説明

● 語のニュアンスや成りたち、注意点などをまとめた。覚える際の参考にする。

⑦ 例文

● 古文学習においては、文章を「読む」ことが大切である。「読む」ための準備ができるよう、ここではほぼすべての訳語に対応する例文を掲載し、古語の意味を実際の文章例で確認できるようにしてある。できれば、一つ一つの例文について、訳を見なくても、自分の力で訳出できるほどに活用すること。

○ 読解トレーニング

数回「read」ごとに、「読解トレーニング」として、文章を「読む」ための材料を提供してある。まとまった主題をもった文章を理解できるようになる学習に利用すること。

④ そこまでのstepに出てきた見出し語を赤文字で示した。また、見出し語に付随する助動詞、助詞などについては薄い赤文字で示した。

⑤ 見出し語の右上の番号は、単語の通し番号である。

○ 付録 入試対策・実戦演習

入試対策として、実際の入試問題形式で作成した「実戦演習」を付してある。この単語集をすべてやりきったあとに、自分の学習効果と、入試問題との距離がどれほどのものであるかを自覚的に診断してみるために利用すること。





むげに

(表下:)

- ① ひどく。むやみに。
  - ② まったく。
  - ③ 無理に。強いて。
  - ④ 確かに。まさしく。
- ※②は打消を伴う。

● 無下なり 212

はなはだしく ひどい様子を表す形容動詞「無下なり」(●212)の連用形が副詞化した語である。程度のはなはだしさを表す。打消を伴うと「まったく」「ない」の意味になる。また、「まさしく」のような意味にもなる。

- ① むげに思ひ萎れて。  
訳 ひどくしよげ返って。

『源氏物語 桐木』

- ② むげにいと頼もしげなくならせ給ひにたれば。  
訳 まったくひどく頼りなさそうになってしまったので。

『源氏物語 若狭』

- ③ むげに踏み入るときに。  
訳 強いて踏みこんだ時に。

『二宮物語』

- ④ むげに落窪の君の手なれば。  
訳 まさしく活窪の君の筆跡なので。

『源氏物語』

